



一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 東京都地方部会 第245回学術講演会

担 当

東京大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

主任教授 近藤 健二

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL 03-3815-5411 FAX 03-3814-9486

日 時

令和6年11月2日(土) 13:30~16:00

発表時間

口演7分、質疑応答3分

会 場

Meiji Seika ファルマ株式会社ビル 地下1階ホール

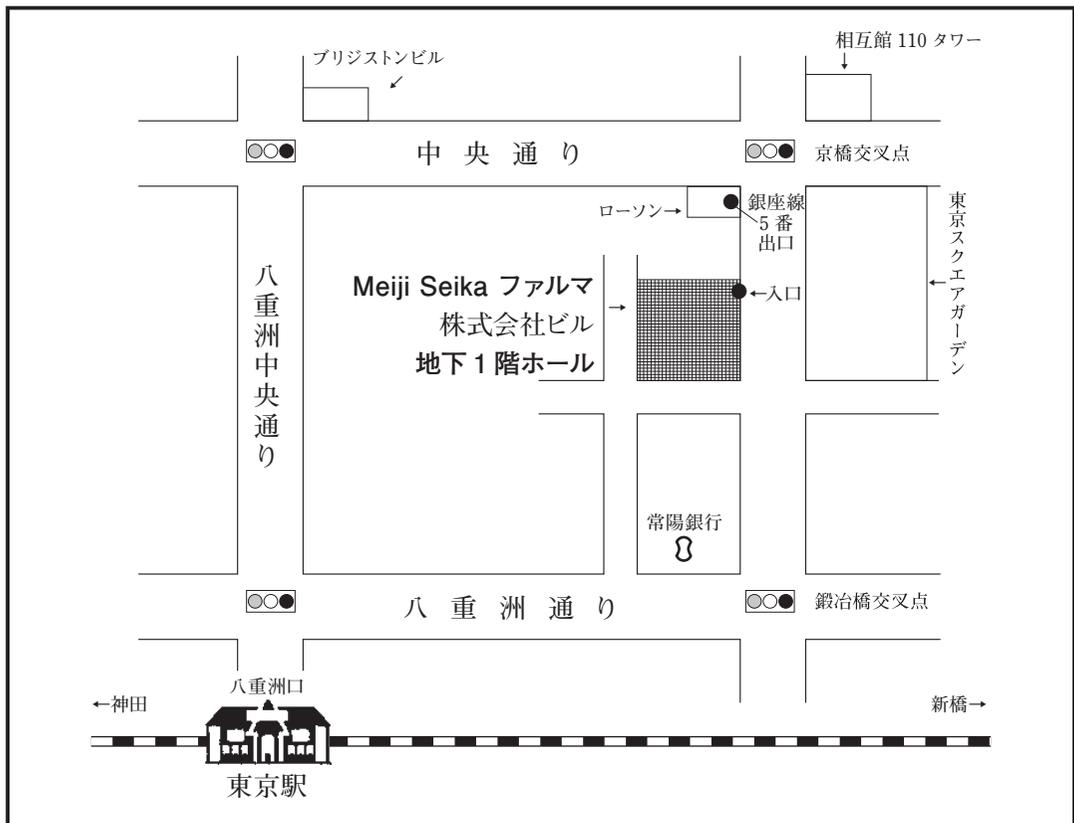
東京都中央区京橋 2-4-16

TEL 03-3273-6030

交 通

JR 東京駅下車 徒歩5分 (八重洲中央口)

東京メトロ地下鉄銀座線 京橋駅下車 (5番出口) 徒歩3分



ご出席の演者およびご出席される会員の皆様には下記のご協力をお願いいたします。

*検温で37.5度以上の発熱がある方はご入場をご遠慮いただきます。

*入場時の手指の消毒にご協力をお願いいたします。

一般演題

開会の言葉

(13:30~13:35) 近藤 健二 (東京大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

第1部

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 感染症 (13:35~14:15)

座長：櫻尾 明憲

1. 重篤な経過を辿った頭蓋底骨髄炎の2症例

○阿彦 玲児、飯塚 太郎、石田 洋介、鈴木 邦啓、伊藤 健

帝京大学医学部付属病院耳鼻咽喉科

2. 当科で経験したレミエール症候群の一例

○山根 敬雅、横西 久幸、馬場 美雪、久田 真弓

東京都立墨東病院 耳鼻咽喉科

3. 頸部リンパ節生検後に Toxic Shock Syndrome を発症した1例

○森 鮎美、熊田 純子、伊東 明子、木田 渉、稲吉康比呂、岩村 均、中屋 宗雄

東京都立多摩総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

4. 急性副鼻腔炎に合併した鼻性硬膜下膿瘍の一例

○中澤 良太、物部 寛子、中西わか子、勝野 貴大

日本赤十字社医療センター耳鼻咽喉科

第2部

頭頸部腫瘍、他 (14:20~15:00)

座長：藤本 千里

5. 舌癌における疼痛の臨床的意義と病理学的知見

○坂井 利彦¹⁾、小村 豪¹⁾、伊藤 達哉¹⁾、加藤 光彦¹⁾、田中 瑛久¹⁾、渡邊 嶺¹⁾
林 崇明¹⁾、江口紘太郎¹⁾、坂井 梓¹⁾、伏見 千宙¹⁾、森 泰昌²⁾、吉本 世一¹⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 頭頸部外科

2) 国立がん研究センター中央病院 病理診断科

6. 左下半盲で発症した左鼻副鼻腔未分化癌例

○八木 詩央¹⁾、稲井 俊太¹⁾、中溝 宗永¹⁾、松居可奈子¹⁾、佐藤えみり¹⁾、野島 知人¹⁾
向井 昌功¹⁾、長嶋 洋治²⁾、野中 学¹⁾

1) 東京女子医科大学 耳鼻咽喉科

2) 東京女子医科大学 病理診断科

7. 術前の制御困難な静脈性腫瘍出血に対して止血目的の放射線治療を行い、後に根治切除を施行した舌癌の1例

○松田 剛也、齊藤 祐毅、山村 晃司、伊藤 裕介、小林 謙也、近藤 健二

東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

8. 炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）に伴うめまい

○鴨頭 輝、中田 智明、金谷 佳織

JCHO 東京山手メディカルセンター耳鼻咽喉科

第3部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学全般（15:05～15:55）

座長：上羽 留美

9. A case of retrograde cricopharyngeal dysfunction treated with transoral cricopharyngeal myotomy

○Maria Angela Dealino¹⁾, Rumi Ueha¹⁾²⁾, Kyohei Horikiri¹⁾, Takao Goto¹⁾, Kenji Kondo¹⁾

1) Department of Otolaryngology, and Head and Neck Surgery, Faculty of Medicine, the University of Tokyo

2) Swallowing Center, the University of Tokyo Hospital

10. Eijnell 手術と声帯横切開術を併施し、早期に気管孔を閉鎖し得た声門後部癒着症の一例

○鈴木奈都美、二藤 隆春、土橋 若奈、大塚 早織、久徳 綾香、相良由紀子、谷口賢新、吉田 剛

国立国際医療研究センター病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

11. Stapes bar により両側伝音難聴をきたした一例

○寺島久美子¹⁾、松本 有²⁾、山上夏矢子¹⁾、野内 舞¹⁾、古川 麻世¹⁾、吉田 昌史¹⁾

1) 公立昭和病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 東京警察病院 耳鼻咽喉科

12. 当科で経験した IgG4 関連副鼻腔炎の 2 症例

○小泉めぐみ¹⁾、東海林 静¹⁾、片岡 俊貴¹⁾、杉戸 亮介¹⁾、宮野 一樹²⁾、勝然 昌子³⁾、田中 健介⁴⁾、萩原 清文⁵⁾、陶山 恭博⁶⁾

1) JR 東京総合病院 耳鼻咽喉科

2) 高田馬場みやの耳鼻咽喉科

3) おかちまち耳鼻咽喉科

4) JR 東京総合病院 呼吸器内科

5) JR 東京総合病院 リウマチ膠原病科

6) NTT 東日本関東病院 リウマチ膠原病科

13. 内視鏡下副鼻腔手術後に発生した上顎洞血腫の 2 例

○久米 秀明、木下 淳、西畠 大宣、近藤 健二

東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

閉会の言葉

（15:55～16:00）近藤 健二（東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

第246回学術講演会演題募集

日 時 令和7年3月8日(土) PM2:00～(予定)
会 場 Meiji Seika ファルマ株式会社 地下1階ホール
担 当 JCHO 東京新宿メディカルセンター 耳鼻咽喉科
演題募集 一般演題
締 切 日 令和7年2月3日(月) 必着
申 込 先 E-mail: tsukidate-toshiharu@shinjuku.jcho.go.jp FAX: 03-5261-4738
JCHO 東京新宿メディカルセンター 耳鼻咽喉科 月舘 利治 宛
*申し込みは上記メールアドレス宛にお願いいたします。
申し込み時に演題、演者、共同演者、所属、抄録(200字以内)を記して下さい。
*E-mailでのお申し込みに差し支えのある方は担当施設へFAXでお願いいたします。

東京都地方部会例会学術講演会の発表と地方部会誌掲載に関するお知らせ

学術講演会の発表について

1. 演題は全てE-mail(アドレスはその時の担当大学・病院)で申し込み、200字の抄録をつけてください(E-mailで申し込みができない方は担当施設へ御連絡ください)。
2. 発表はすべてPCにて行なっていただきます。
3. 演者の方は、該当群30分前までに演者受付に、USBメモリーに保存したデータをご提出下さい(ご持参のUSBメモリーには発表データのみ入れておいて下さい。CD-RやDVD-Rは使用できません。一部はバックアップ用もご用意下さい)。学会で準備したWindowsコンピュータにファイルをコピーさせていただき、液晶プロジェクターにて投影いたします。
4. 「Windows版PowerPoint 2013-2019」で作動確認したファイルをご用意ください。Mac使用の方はWindowsファイルに変換して、各自事前に文字ずれ/文字化けなどの有無を確認してからご持参ください。

学術講演会での動画使用について

1. Windows版のMedia Playerで作動する形式をお使いください。
2. 動画ファイルには拡張子を必ず付けてください。
3. 実際に使用した際のリンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作製したPC以外のPCで動作確認することにより解決できます。
4. 受付可能な記録媒体はUSBフラッシュメモリーのみとさせていただきます。データの容量は100MB(総量)までとさせていただきます。
5. 不測の事態に備えて、発表ファイルの入ったご自身のPCをご持参ください。
6. 演者が登壇後にPCオペレーターが発表スライドの最初のページを表示します。演者はスライドを確認し、USBキーボード・マウスを各自で操作してください。
7. 動画使用の際は、演題申込み時に抄録に記載をお願いします。

地方部会誌への掲載について

1. 演題名、演者名、所属施設名および抄録は地方部会誌に掲載します。質疑応答内容は掲載しません。
2. 総会の講演については演題名、演者名、所属施設名のみ掲載します。